

平成 28 年度第 2 回地域協議会議事録

【日 時】平成 29 年 3 月 7 日（月）13 時 30 分～14 時 30 分

【場 所】群馬中央病院別館 2 階大会議室

【議 事】1. 開会のあいさつ

2. 議事

1) 前橋市内で開催されるスポーツイベントへの救護医師派遣について

2) 平成 29 年度事業について

① 糖尿病センター・小児外科について

② JCHO 版ホスピタリスト育成プログラムについて

③ 看護師の特定行為研修について

④ 次世代ヘルスケア事業について

3) その他

3. 次年度の協議会の開催について

4. その他

【委 員】

塚越 日出夫（群馬県健康福祉部長）、倉嶋 敬明（前橋市副市長）

蛭川 勝美（前橋市消防局長）、川島 崇（群馬県医師会副会長）

田中 義（前橋市医師会会長）、家崎 桂吾（前橋市医師会病診連携担当理事）

西田 保二（群馬県済生会前橋病院病院長）、荻原 京子（群馬県看護協会専務理事）

下山 常吉（紅雲町一丁目自治会長）、久我 全治（浅香運輸取締役）

田代 雅彦（JCHO 群馬中央病院院長）、北原 陽之助（JCHO 群馬中央病院副院長）

寺内 正紀（JCHO 群馬中央病院副院長）、内藤 浩（JCHO 群馬中央病院副院長）

吉良 雅巳（JCHO 群馬中央病院事務部長）

茂木 香里（JCHO 群馬中央病院看護部長）

山賀 章一（JCHO 群馬中央病院薬剤部長）

【概要】

1. 開会のあいさつ

田代議長：今年度より地域協議会を年に複数回行うこととなり、今年度 2 回目を開催させていただくことになりました。前回は病院の実績をご報告させていただきましたが、今回は医院の皆様からよせていただいた議題と平成 29 年度の事業に関してご紹介し、ご意見をいただき本日の議題を進めていきたいと考えております。また、機構本部より平成 28 年 10 月 14 日付で通達があり、厚生委員の名簿、ならびに本日の議事概要をホームページ等に公開することとなっております。第 1 回の委員名簿、議事録はすでに掲載をしております。

委員紹介

2. 議事

1) 前橋市内で開催されるスポーツイベントへの救護医師派遣について

田中委員：最近では前橋市のスポーツイベントが多く、救護の依頼が直前に入ることが多い。中体連などで救護所に詰めていなければならない依頼も多く日赤にお願いしたこともあった。急な依頼があったときに中央病院でもお願いできるとありがたいのですが。

田代議長：実績を見てみたのですが、サッカーチームの専属スポーツドクターやスポーツ協会の依頼などがある。この依頼はどちらかという観客側の救護ということでしょうか。

田中委員：おもに中体連の開会式などで参加している選手の対応です。軽度のけがや脳貧血など、応急処置の対応です。

田代議長：ご連絡いただき、要請があればできる範囲でご協力します。

2) 平成29年度事業について

①糖尿病センター・小児外科について

昨年12月から糖尿病専門医の専門医の根岸先生を迎え、今年の4月から糖尿病センターを開設する予定です。2.3診療室を使って腎症患者さんを見るときよりも地域連携という形で患者さんをご紹介いただき、またお返しすることを積極的に行っていきたいと考えております。日本糖尿病学会の教育施設の認定も行っております。小児外科に関しては、4月から小児外科の専門の医師が常勤になります。難しい手術ができるわけではないが、ヘルニアなどはできると思っています。今までは小児医療センターへお願いしていたものも、少し幅を広げられるのではないかと考えております。今後も医師が変わることによって出来る範囲が変わってくるかと思いますが、連携室を通してご案内させて頂きたいと思います。

②JCHO版ホスピタリスト育成プログラムについて

(スライドと配布資料による提示) 北原委員より説明

③看護師の特定行為研修について

(配布資料による提示) 茂木委員より説明

④次世代ヘルスケア事業について

(スライドによる提示) 内藤委員より説明

・返書について

前回協議会の時に返書に関してご指摘を頂きましたが、遅延やおちがないようなシステムを作っております。まだ前回会議から2カ月ですので、データをご提示できませんが、今後検討し次回ご提示させていただきます。

協議

塚越委員：小児外科の先生について、どのように採用されたのでしょうか。

田代議長：大学の人事です。

川島委員：総合診療医に関してですが、たとえば5.6年経って開業する前段階として、もう一度全体を勉強したい時に2年間できると非常に良いと思う。いろいろな形の総合診療があると思いますのでぜひ頑張ってほしいと思います。専門医制度の総合診療医はやらないのでしょうか。

北原委員：1年目は群大で、2年目は希望者がいれば当院で研修ができるように大学の協力型の形ではやるつもりでいます。専門病院の大学の協力型でしたが、少し緩和され基幹病院になれるという事でJCHOの都内の2病院と当院の3病院で組んで研修プログラムを提出しているところです。それが認められれば当院も専門医制度の基幹病院として届け出ができるということになります。

川島委員：今後総合診療医と言う専門医を育成してもいいのではないのでしょうか。

田代議長：一般内科ではなく総合内科というイメージですね

北原委員：東京の病院から総合診療部を立ち上げてくれる先生が来てくれるよう働きかけている。そうすれば総合診療部というかたちで出来る可能性もあります。

田代議長：総合診療に関しては。少し経過を見て検討していきたいと思っています。

塚越委員：特定行為研修について、はじめは中央病院の看護師さんでやむを得ないと思いますが、県の方にも「県内で研修が受けられるようにならないか」と話がある。それぞれの区分について定員は決まっているのでしょうか。

茂木委員：各病院で特定行為区分が決まっているので定員はあります。外部からのお話もあるのですが、JCHOの目標は350名の人材育成なので、この研修制度が安定してきましたら外部からの受け入れという事もあるかもしれませんが、現段階ではJCHO内での育成という形になっております。

塚越委員：病院の方針もあると思いますが、今後検討していただいていいリーディングケースになると思いますのでぜひ成功させて、できましたら大学系の訪問看護に関係するところでやっていただきたい。検討課題としていただけるとありがたいと思います。

田代議長：検討させていただきます。

田中委員：糖尿病センターですが、治療困難例のコントロールをお願いできるような施設と考えてよろしいでしょうか。

田代議長：そうなると思います。

内籾委員：逆に、症状が安定した患者さんは逆紹介させて頂ければありがたいと思っています。

北原委員：入院のプログラムがありまして、インシュリンを導入したいけれど医院では

難しい、とか栄養士による食事指導の依頼なども受けられるようになっております。先生方が使いやすいようにオーダーしていただければよろしいかと思っております。インシュリンの導入や自己測定の手導等をさせていただいてある程度安定したら開業医の先生方へお返しするというかたちがとれると思っております。

家崎委員：次世代ヘルスケア事業について、従来行っている窓口を一本化するということでしょうか。

内藤委員：できるだけ一本化したいと考えています。（医療・介護保険、保険外が）わかる方はよいのですが、わからない方がその窓口へ行けば全てわかるようにしたいと考えています。

家崎委員：保険外サービスとは具体的にどのようなものが該当しますか。

内藤委員：例えば、食事の宅配サービスですとか、これから考えていかなくてもはなりません。

家崎委員：これからいろいろな業者を募っていくということですね。

内藤委員：次世代ヘルスケア産業協議会というのが群馬県にありまして、そこに参加している方々を中心にご案内して事業を募るということになります。見守りサービスなど色々なことがあるかと思っております。要介護1,2の生活援助サービスが介護保険の対象から外れるようなことになった場合、そこをカバーできるサービスができるとよいと思っております。

家崎委員：非常ににおもしろい試みで、期待しております。

内藤委員：先生方と連携してやっていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。

西田委員：JCHO版ホスピタリストについて、当院でも本部の方で人材育成という面でJCHOの取り組みに注目している。地元密着でという事で非常にいいアイデアだと思います。参考にさせていただきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。

田代議長：これからですので、よろしくお願い致します。

その他

西田委員：災害拠点の研修や訓練についてですが、現場でのトリアージの能力はあるが、拠点病院同士の協力が必要だと思います。実際現場は物流を含め大混乱する。各病院では行ってはいるが、図面上だけではなく横の連携を強化しておくためのプランニングが必要だと思います。

田代議長：3年前くらいにDMATの訓練を行い、大学に患者さんを送るのに時間がかかった経緯がある。計画していただければぜひ参加致します

西田委員：備蓄の問題ですが、直近3日間に対応できるが、それ以外の中長期に対してはどうでしょうか。

田代議長：拠点病院としての基準は満たしております。

西田委員：実際、災害の訓練も含めて医師会の先生方も大幅に関わってくることで早急にプランニングを進める必要があるのではないかと思います。

蛭川委員：災害医療の関係に置きますと、群馬県の災害コーディネーターである日赤の中野先生とよくお話しさせて頂いて、西田先生が御心配されていることもよく検討させて頂きたいと思います。

田代議長：ありがとうございます。

下山委員：高度な知識を持った職員の育成に力を入れて頂ければと思っております。

田代議長：ありがとうございます。今日ご紹介したことも含め、力を入れていきたいと思っております。

久我委員：中央病院と頼れる関係がますます築いていければと思っております。

蛭川委員：救急に関しては、1年に1回意見交換会を開催していただいておりますので、そこでもうまく連携をとってやっていきたいと考えております。

田代議長：ありがとうございました。本日戴いた意見は病院の運営にあたり参考とさせていただきます。他にご意見等なければ事務局に進行をお返しします。

3. 次年度の協議会の開催について

田代議長：29年度につきましては、6月と12月の開催を予定しております。6月の開催は、前年度の実績報告をさせていただきたいと考えております。2月に関しましては翌年度の事業計画の策定をするうえで、委員の皆様から戴いたご意見を計画に反映させたいと考えております。

4. その他

田代議長：意見等なければ、これにて地域協議会を修了とさせていただきます。ありがとうございました。